

2019 群馬県高等学校春季女子ソフトボール大会

前橋育英

宿敵市立太田破り

2年ぶり栄冠

群馬県大会

決勝戦の対戦相手は市立太田。昨年の新人戦では、延長戦の末、惜しくも敗戦。県内4強の壁を改めて痛感した大会でもあった。今大会はリベンジマッチ。この一戦に勝てば、次が見えてくる。

試合は序盤リードされながらも、先発投手の気持ちは市立太田を抑え込む。前橋育英打線も奮起。気持ちの一打で同点。ついにタイブレーク



勝機呼ぶ、スーパープレー!

緊張感ある タイブレーク

クに突入。その後も、点を取っては追い付かれ、一歩もひけない中、最終局面に入り、絶体絶命のピンチ。レフトのスーパープレーで、ムードは一気に前橋育英に。

気持ちを切らさず、ついに逆転の一打が飛び出し、前橋育英が春の大会を制した。2年ぶりの栄冠。部員数40人を超える前橋育英ソフトボール部。「今年は何と味違う」。育英魂で初のインハイ出場を目指す。

毎年、群馬県内ではベスト4止まりというイメージが強かったが、この大会を制する事が出来た。本当にうれしい。いつも練習試合に足を運んで選手たちを見守ってきたので、涙があふれる。

保護者からも喜びの声

保護者達も全員で応援して、最高の夏を皆で過ごしたい。

今回に満足することなく、次の大会での躍進を期待している。

次を勝って、本当の前橋育英の強さを見せてほしい。これからもたくさん、前橋育英に足を運んで、選手たちの成長をこの目で見届けていきたい。

最後に、感動をありがとう。これからも応援しているよ。

選手の声

いつも、いつも、4強相手には負けていました。だけど、負けられない一戦がこの試合だった事は、皆が感じていました。こんなに緊張感のある試合は初めての経験でした。皆で勝つ事の喜びを改めて感じました。

結果は優勝という事で、まずは大きな自信につながったと思います。あと2大会、ノーストップで突き進んでいきたいですね。

試合中に先生からの厳しい指示。だけど今回は笑顔を見ることができました。厳しい中でも楽しみながら試合ができたと思います。

三年生は残り数カ月、ソフトボールに集中して、悔いのないソフトボール生活を送りたいですね。目指すところは一つ、先生、選手、保護者、全員で、てっぺんを取りに行きますよ。がむしゃらに、がむしゃらに。



2019年
4月21日
日曜日

前橋育英便り

号外